

診療部門別の戦略

病院全体の戦略を踏まえ、院内での協議を経て、以下のとおり診療部門別の戦略を策定した。

1) 内分泌・代謝内科

糖尿病、糖代謝異常症、脂質代謝異常症、尿酸代謝異常症などの代謝領域、甲状腺疾患、副腎疾患、下垂体疾患などの内分泌領域の疾患に対する内科的な診療を行う。

《重点分野》

- 「入院医療による市民への貢献度を、高める」ために、
 - ・ 糖尿病センターを立ち上げ、多職種からなる糖尿病総合ケアチームを充実させ地域の糖尿病治療の拠点を目指す
- その他
 - ・ 3日～4日程度の短期間の教育入院パス（インスリン導入のみ等）や糖尿病患者の重症度に応じた患者ケアプランを作成し、啓発活動・予防医療にも貢献する。

2) 神経内科

脳血管障害（脳出血、脳梗塞）、及び変形疾患（パーキンソン病など）、筋萎縮性側索硬化症などの神経難病疾患に対する内科的な診療を行う。

《重点分野》

- 「入院医療による市民への貢献度を、高める」ために、
 - ・ 神経難病疾患患者、脳梗塞患者に対し総合的なケアを提供出来る体制を構築する。
- その他
 - ・ 脳卒中地域連携パスの推進を図る。

3) 呼吸器内科

気管支喘息、肺炎、肺がん、びまん性間質性肺疾患、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、慢性呼吸不全などの呼吸器疾患に対する内科的な診療を行う。

《重点分野》

- 「入院医療による市民への貢献度を、高める」ために
 - ・ 地域連携を通じて、呼吸器慢性疾患の在宅患者の急性増悪時の入院医療のニーズに対応していく。
- その他
 - ・ 呼吸器感染症に対する施設環境を整え、感染症医療への初動対応を図る。

- ・ 専門病院（がんセンター等）との間で呼吸器がんに対する放射線治療や化学療法分野での連携を強化する。

4) 消化器内科

B型、C型等の肝炎治療、潰瘍性大腸炎・クローン病などの炎症性腸疾患、早期の消化器がんなど、幅広い肝臓及び消化器疾患に対する内科的な診療を行う。

《重点分野》

○「入院医療による市民への貢献度を、高める」ために

- ・ 肝硬変・肝臓に対する総合的な入院医療の受入れ体制及びラジオ波等の積極的な治療を重点項目とする。

○その他

- ・ 内視鏡治療、特に EMR・ESD を中心とした早期がんの入院治療を重点分野とする。

5) 循環器内科

虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞など）、不整脈（心房細動、上室性頻拍、洞不全症候群、完全房室ブロックなど）、心不全、肺塞栓症など全ての循環器疾患に対する内科的な診療を行う。

また、心臓カテーテル検査、経皮的冠動脈形成術・ステント留置術（PCI）、ペースメーカー移植術、経皮的カテーテル心筋焼灼術（アブレーション）などの検査・手術も行う。

《重点分野》

○「入院医療による市民への貢献度を、高める」ために

- ・ 専門病院（がんセンター等）及び、地域の開業医との連携を強化し、PCI・カテ・アブレーション・PMI を中心としたカテーテル治療の件数を増やし入院患者を充実させる。

○その他

- ・ 救急隊・ハートネットとの関係を強化し AMI 等の ACS（急性冠症候群）の救急受入れを強化する。

6) 小児科

小児科疾患全般に対する診療を行う。

《重点分野》

○「入院医療による市民への貢献度を、高める」ために

- ・ 小児科病棟を整備し、小児一般から専門分野まで幅広く入院医療に対応していく。

○その他

- ・ 小児救急医療の拡充に向けて、地域の一次（医療センター）、三次（東京慈

恵会附属柏病院)と連携し、二次救急医療機関としての役割を果たしていく。

- ・小児科医にとって魅力的な病院となるため、労働環境、研修環境を整えるとともに、数多くの経験を積めるよう高度・専門病院等との連携の強化を図っていく。

7) 外科

消化器外科を中心に、乳腺、甲状腺、副甲状腺、ヘルニア、自然気胸等の外科一般の診療を行う。消化器外科では、胃、小腸、大腸、直腸の悪性腫瘍の手術を行い、術前・術後の補助化学療法(抗がん剤治療)や術後再発に対する化学療法も行う。その他、胆石、ヘルニア、痔疾患などの疾患に加え、急性虫垂炎や消化管穿孔などの腹膜炎の緊急手術にも対応していく。

《重点分野》

○「入院医療による市民への貢献度を、高める」ために

- ・ 良性・悪性を問わず幅広く外科一般症例を集め手術を中心として入院医療に貢献していく。
- ・ 専門病院(がんセンター等)と連携し、合併症や高齢者のがん患者の手術も行っていく。

○その他

- ・ 専門病院(がんセンター等)が扱わない良性疾患についても、幅広く手術対応出来るようにする。

8) 整形外科

身体の中になる骨・関節などの骨格系とそれを取り囲む筋肉やそれらを支配する神経系からなる「運動器」の疾患に対し、それらの機能的改善を重要視した治療を行う。

《重点分野》

○「入院医療による市民への貢献度を、高める」ために

- ・ 脊椎センターを立ち上げ、東葛北部医療圏の脊椎疾患の拠点病院として保存療法から入院・手術・リハビリを含めた総合的な診療体制を充実させる。

○その他

- ・ スポーツ外来、低侵襲手術(内視鏡・顕微鏡)等専門性の高い分野を生かし、地域の医療機関との連携を強化していく。

9) 泌尿器科

腎臓、副腎、腎盂・尿管、膀胱、前立腺、精巣、尿道などの後腹膜臓器の疾患全般に対する診療を行う。

《重点分野》

○「入院医療による市民への貢献度を、高める」ために

- ・ 高い専門性を生かし、今後増加が予想される前立腺がんの診断・化学療法・手術・術後ケアまで含めた総合的な診療体制をアピールして行く。

○その他

- ・ 高い専門性と実績を生かし、前立腺肥大症、神経因性膀胱、尿失禁等の様々な原因からなる排尿障害や尿路結石症に対し薬物療法～手術まで幅広く対応する。

10) 眼科

眼科疾患全般に対する診療を行う。

《重点分野》

○「入院医療による市民への貢献度を、高める」ために

- ・ 当院他診療科と連携し、高齢者の白内障に対する入院医療を充実させる。
- ・ DM 性網膜症に対しては、外来医療を充実させていく。

○その他

- ・ 施設環境を整え、患者の選択による白内障手術のデイスার্ジャリーの対応の充実を図る。

11) 放射線科

画像診断、低侵襲治療（IVR）を提供する。

《重点分野》

○「入院医療による市民への貢献度を、高める」ために

- ・ 専門病院（がんセンター等）と連携し、放射線治療や高度医療機器の分野での連携を強化する。

○その他

- ・ 常勤放射線医師を増やし、高度な専門性を生かした IVR 治療の拡大を目指す。

12) 健診センター

特定健康診査や各種健診の検査・診察、人間ドックを行う。

《重点分野》

- ・ 院内各科との連携を強化し、健診ドック等の生活指導・予防医療に留まらず、総合診療医的な視点から早期発見・早期治療へ向けた患者のトータルサポートを目指す。